

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 6 6 号
件 名	B R T 新バスシステム撤回について
要 旨	<p>3月18日、B R T 住民投票条例案は、20 対 30 で本会議で否決されました。しかし、6万6,141筆（認定数5万9,790筆）の有権者は納得していません。期間が過ぎても署名をしたいと多くの声が寄せられました。</p> <p>①新バスシステム導入後、負の連鎖をとめる検証はされたのでしょうか。私は聞いていませんし、報道発表もありません。検証なくして、社会実験と称し、島式ホームの設置に進むのですか。当初連節バスは62便走らせる計画が50便に減った理由は何なのか、説明がありません。私は市役所停留所で平日午前10時から午後1時までの連節バス乗客数を調べました。新潟駅行きは平均18人、青山行きは15人でした。1台115人乗りが、これでは無駄としか言いようがありません。片や一般バスは立ち客まで出ています。市民はがらがらにすいた連節バスをさめた目で見ています。</p> <p>②一番困っている人は通院客です。がんセンターへの通院は白山駅から病院まで距離があり過ぎ、元に戻してほしいとの声が圧倒的です。即ダイレクト便を出してください。</p> <p>駅南からの市民病院行きもB R T 導入後便数が減りました。予約制のためタクシーを利用するが往復4,000円もかかりますと、御婦人が私に話してくれました。本町に通院の方は病院を変えたとのこと。皆さん怒っています。町に出ないと言われる方もいます。これでは日本一安心して暮らせる町とは言えません。</p> <p style="text-align: right;">（裏面につづく）</p>
付 託 年月日 委員会	平成28年6月14日 環境建設常任委員会
受 理	平成28年5月30日 第78号

③住民説明会について、2015年（平成27年）7月12日の市報では、まちづくりトークは5月23日から6月28日まで、8区で11回開催したとありました。情報公開請求したところ、平成27年度は一回も住民へのまちづくりトークは行っていません。

また、2016年3月11日の環境建設常任委員会の市の説明では、この3年間で100回以上説明会を開いたと発言されました。しかし、実際は3年間で8区32回でした。御存じのように、一番多かった地域ミーティングは決められた人だけに発言権があり、一般住民は傍聴を許されるだけです。その人たちの中にはBRTを知らないという方もいました。

ここまで市民をごまかすやり方は、この計画が破綻していることを意味しています。

以上の点から、これ以上の市民の税金の無駄遣いをしないよう、BRT導入新バスシステムを撤回し、路線を元に戻すよう陳情いたします。